

# 文芸きくち



## 万句の里俳句会 3月句会

余寒なほ少しの酒と籠りけり  
鶯のつたなき声の日もすがら  
水音に光あふるる春の川  
初蝶の風の高さをまだ知らず  
在りし日の夫の笑顔や桜餅

岩木 敬治  
加藤 妙子  
川口 二子  
中路 郁子  
宮本 雅子

## せせらぎ俳句会 3月例会

星霜や芹摘みし田は街となり  
草萌えや老女の足許包むごと  
朝東風の部屋の空気を入れ替えて  
ストレスをたんぽぽ絮毛で吹いてみる  
白木蓮見上げて知るや空の青

藤本 邦治  
寺本 和子  
五丁 義昭  
藤本アツ子  
森 正子

## 旭志文芸教室俳句の会 3月詠草

冬麗園児の農園わらべ歌  
町おこしとふ木立仏像春の風  
整列す干し大根や友の家  
麦踏みのローラー押す子頼もしき  
老いてゆく身の置きどころ春立ちぬ

芹川 蓉子  
藤本けい子  
中尾ヨシコ  
芹川のり子  
水谷 ミネ



## 七城短歌会 3月詠草

ひと夜さに梅の花びら散りゐたり庭の敷石くれなる色に  
お雛さま座敷狭しと飾りたる悦び分かちぬ友を誘う  
雄大な阿蘇はカルデラ中岳の久遠の噴煙鞍岳より見る  
動かぬを良となりたる風潮に吾齒向かいて歩く川べり  
うからどち称える天婦羅路の臺庭に昼出で吾の摘みにし

嶋田 晴美  
緒方 寛子  
渡辺 光夫  
緒方 正俊  
高木 精

## 「里」短歌会 3月詠草

わが郷の川の平野の成立の歴史も深む短歌例会  
春畑にぢやが芋十個菜を五本植えて安堵のわれの菜園  
山碎き緑をはがすブルトーザ肌地に居座る怪獣のごと  
「春は桜秋は紅葉」と城山の眺め夢みて植ゑゆきし楓  
立ち欽で庭の芽立ちを削りいる足腰曲げるは苦しくなりて

宮本 淑子  
山城 雅子  
岩本サヨ子  
林 淑子  
梶原美知代

## 溪流短歌会 4月詠草

野に遊ぶ子ら無き里に日は落ちて遠方に鳴く山鳩の声  
朝食はプランター育ち新鮮なサニーレタスの十枚を食む  
雨風の強く降り吹き瓦飛び翌朝夫は片づけ忙し  
ノルディックの杖を支えに歩くわれ幼ら芝生駆け回りいる  
一人居もほっこり日なたに誘われて戸を開け窓開け肺炎予防

中川 愛子  
山城 雅子  
田中 遥子  
岩根 博恵  
堤 よしみ

## 菊池短歌会 4月詠草

川岸におどる菜の花幾万本いちめんの黄色春を運び来る  
植木市生前あなたが一番好んだランキユラスの並んでいたよ  
昨夜の雨留めて耀らふ八重桜全快のわれの祝がるる如し  
我は我のみの祈りをもつ故に冬の陽射しにさへやつつまし  
店先に目が合ったからと夫の買うトマトはへたに草の匂いす

川口すみ子  
古賀 勝土  
中川 愛子  
奴留湯健春  
安藤 則子

入会希望など詳しくは、  
それぞれの句会や歌会  
にお尋ねください。

万句の里俳句会  
せせらぎ俳句会  
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151  
藤本 ☎0968(38)4087  
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会  
「里」短歌会  
菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761  
／溪流短歌会  
木原 ☎090(5284)2418  
安藤 ☎0968(25)4285